



Press Release

ロングリーチグループ ウェンディーズ・ジャパン合同会社への出資について

【東京 / 香港 2016 年 6 月 1 日】 独立系投資会社ロングリーチグループは、ヒガ・インダストリーズの子会社であるウェンディーズ・ジャパン合同会社(以下、「ウェンディーズ・ジャパン」)の増資を引き受け、ウェンディーズ・ジャパンの経営権を取得することで同社と合意いたしました。また、当該合意に関連して、ロングリーチグループからの増資資金を原資に、ウェンディーズ・ジャパンはサントリーホールディングス株式会社との間で、その 100%子会社であるファーストキッチン株式会社(以下、「ファーストキッチン」)の全株式を取得することに合意し、株式等譲渡契約書を締結いたしました。

ウェンディーズ・ジャパンは、米国を含む世界 28ヶ国で約 6,500 の自社・フランチャイズ店舗を有する米国ハンバーガーチェーンレストラン「ウェンディーズ」を The Wendy's Company のフランチャイジーとして日本国内で独占的に展開しており、一方、ファーストキッチンは、日本発のハンバーガーとパスタを提供するファストフードチェーンとして高いブランド力を有し、現在日本全国に 136 店舗を展開しております。また、ファーストキッチンとウェンディーズ・ジャパンは、業界においても数少ない 2 つのブランドの人気商品を販売するコラボ店舗である「ファーストキッチン・ウェンディーズ」を昨年 2 店舗オープンし、お客様からのご好評を頂くなど、既に協力関係を構築し新しい成長基盤を確立しております。なお、本件と同時に、ウェンディーズ・ジャパンは日本においてファーストキッチン・ウェンディーズ事業を更に拡大していくことを企図し、米国ウェンディーズとの間で新たな独占的ライセンス契約を締結しております。

ウェンディーズ・ジャパンの経営権取得、これに関連するファーストキッチンの株式取得及び米国ウェンディーズとの間での独占的ライセンス契約締結により、ロングリーチグループは、「ファーストキッチン・ウェンディーズ」の成長を加速させると共に、中高価格帯ハンバーガー、チキンサンドウィッチやパスタ等のファストフード市場における新たな事業成長機会を創出してまいります。また、事業の拡大に伴いファーストキッチン及びウェンディーズの更なるブランド強化が図れるものと考えています。

なお、今回のファーストキッチン及びウェンディーズ・ジャパンへの投資は、特徴あるコンシューマー事業への投資と価値向上に注力するロングリーチグループの投資方針に一致したものであり、今後、事業効率性の更なる向上及び将来に亘る事業拡大を企図した施策を検討してまいります。

###

ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本およびアジアにおける戦略的プライベート・エクイティ投資を目的とした事業支援投資会社です。対象分野としては、日本およびアジアにおけるコンシューマー関連、産業テクノロジー、ビジネスサービス、金融サービスの各分野が中心となります。また、共同投資分を含め合計で約 14 億ドル規模の 2 ファンド(第 1 号・第 2 号)を運営しており、過去これらのファンドを通じて、様々な投資案件を手掛けてきた実績を有しております。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのアドバイザー業務を提供しています。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。